

青総探究ジャーナル vol.3

～総合的な探究の時間編～

発行日：2026年7月16日 執筆：廣田大樹

総合的な探究の時間って何？

総合的な探究の時間（以下、総探）は、二年次で必修の授業です。一年次の産社を踏まえて、自身の進路をより深く考えていく授業となっています。三年次での卒業研究執筆へ向け、その準備として書籍・論文の読み方から小論文などの文章の書き方、さらには自分自身の興味・関心の深め方などを行っています。

本年度より一般社団法人ユースキャリア教育機構様にご支援いただき、それらの活動をより綿密に、濃いものとなるよう、カリキュラムを組んでいます。

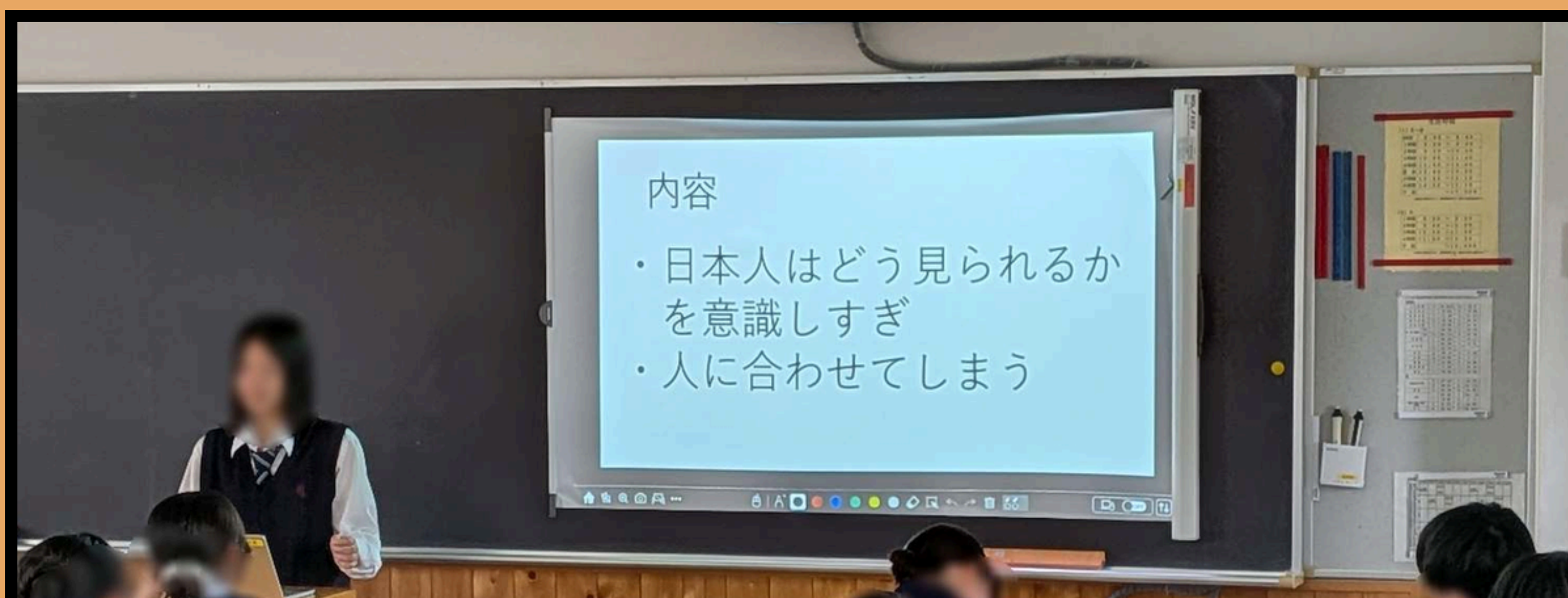
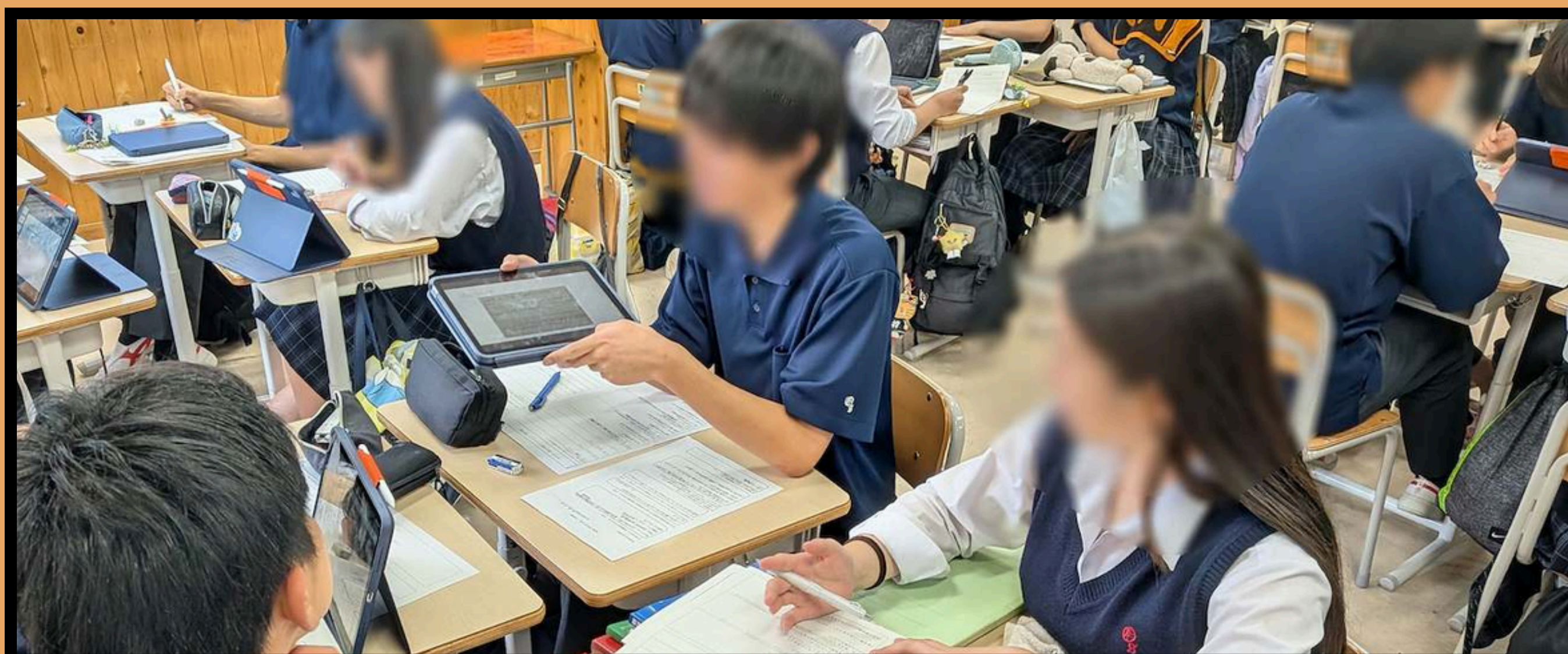
自身の進路と深く向き合っていく時間であると共に、進路実現へ向けた基礎力を高めていく、そんな時間になっています。

論文のあらまし読みワーク

6月23日の授業では、論文のあらまし読みを踏まえて、論文から読み取ったことを発表するという活動を行いました。あらまし読みとは「本をぜんぶ読む前に、目次や序章、気になるところだけを読んで、「この本、どんなことが書いてあるんだろう？」と全体像をつかむ読書法（あらまし読み推進会HPより）」です。今回は、その応用編として興味関心のあるテーマの論文をあらまし読みし、その内容を発表していききました。

班で発表を行った後、代表者を決めてクラス全体発表を行いました。歴史的なテーマから、心理学をテーマにした発表など、多様なテーマが見られました。

2学期以降は、今回深めたテーマを元にして卒業研究のテーマを決め、研究活動が始まっていきます。テーマの決め方や論文の書き方及びルールを理解し、生徒自身が自分の興味関心を深められるようなコンテンツを創造してまいります。

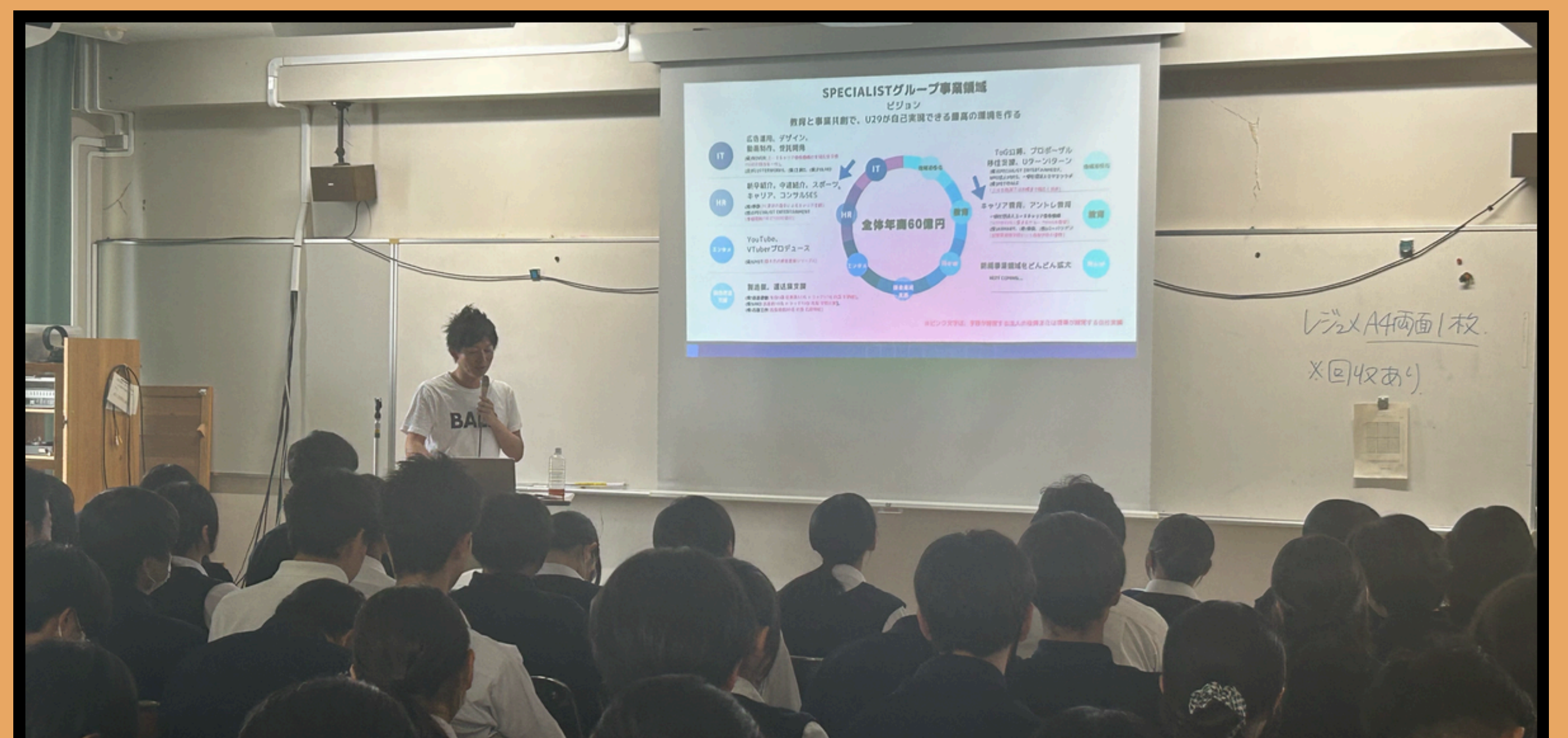


職業人講話を実施しました！

二年次総探の授業では、様々な社会で働く現役の方々より「社会で生きること」・「働くこと」について講話を行っていただいています。昨年度はある個別指導を展開するフランチャイズの社長様に来ていただきました。本年度はユースキャリア教育機構様代表理事の宇野様、副代表理事の高瀬様に講演をしていただきました。

講演テーマは「多様な社会を生き抜くスキル」ということでお二人のキャリアを元に今の仕事を選んだ理由や高校生時代に、キャリアに対してどのように考えていたかということをご講演いただきました。「好き」や「やりたいこと」に素直になってみることに、「正解を探す」のではなく、自らの意思決定を「正解にする」ことが大事であるということ伝えていただきました。

夏休みに入り、7/21には元日本代表・元コンサドーレ札幌のプロサッカー選手「古田寛幸」さんが本校に来校し、「サッカー×探究」をテーマにご講演されます。生徒自身が興味関心を掘り下げ、学び続ける力をつけられるような授業をこれからも展開してまいります。



担当より

総探の授業では、卒業研究・進路実現へ向けた実践的な取り組みが多くあります。産社では「自分を知る」ことをテーマに、総探ではそこから「進路実現するための方法を知る」をテーマに進んでいきます。今後は自分自身の興味関心を深めていくワークが多くありますので2学期以降の取り組みにもぜひ注目してください！